

# ハンドボール

No 48

Japan  
Handball  
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	⑦
----------	---

年月日	2022 年 10 月 7 日 (金)
大会名	第77回いちご一会とちぎ国体

## 公 式 記 録 用 紙

A						福岡県						山梨県						B	
栃木県			栃木市			マルワ・アリーナとちぎ						2回戦							
前半	A 9	B 18	最終 結果	A 27	B 33	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mXO- D/F/T	A	B					
7m得点/総数		A 0/0	チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 1/1	7m得点/総数									
			1 1548	2 1944	3				1 2946	2	3								

No.	福岡県	G	W	2'	2'	D	DR	No.	山梨県	G	W	2'	2'	D	DR
1	坂本 誠之介							1	市川 俊喜						
2	原田 浩天	6						2	金子 眞虎	5					
3	酒井 優希	4						3	窪田 晴天	8					
4	佐藤 圭	3						4	古澤 宙大	7					
5	原 裕一朗	3						5	清水 翔悟	5					
6	中山 大雅	3						6	宮坂 香太郎	2					
7	青木 悠一郎	5						7	青砥 直輝	2					
8	渡邊 凌真	3						8	内田 運	2					
9	矢野 汀	1						9	関根 脩						
10	富田 充訓範							10	尾石 洋太郎	1					
11	齋藤 柇	2						11	和形 大翔	1					
12	海老原 直人							12	堀川 陸						
監督A		安武 克洋						監督A		八田 政史					
役員B		上田 芳久						役員B		八田 政久					
役員C		河原 亮						役員C							
役員D								役員D							

A	守矢 克洋	チーム役員A署名	八田 政史	B
特記事項				

レフェリー	堀田 侑佑	櫻井 隆光	堀田 侑佑	櫻井 隆光
TD	小林 亮太	細津 誠	小林 亮太	細津 誠
MO	泉水 孝浩		泉水 孝浩	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

# ハンドボール NO 47

## 第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

### 試合結果・戦評報告書

競技日	10月 7日(金)	試合番号	⑦	回戦	2回戦
種別	少年男子	会場	マルワアリーナ		
Aチーム名			Bチーム名		
福岡			山梨		
得点合計	小計		小計	得点合計	
27	9	前半	18	33	
	18	後半	15		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

#### 戦評

県内の強豪からの選抜となった福岡県と駿台甲府高校で挑む山梨県の試合となった少年男子2回戦。序盤は、多彩な攻撃を見せる福岡と④古澤が見事な配球でゲームをつくる山梨が互いに得点を重ね、前半8分で3対4と拮抗した状態が続く。前半10分すぎ、山梨が③窪田の連続得点を含む3連取で福岡を引き離しにかかるが、対する福岡②原田がそれを許さない。しかし、山梨の流れは止まらず、2連取を許した福岡は、前半15分に4対9となったところでタイムアウトを要求する。その後、福岡は⑦青木と⑥渡邊の両サイドを中心に得点を奪うが、山梨の速攻をとめることができず、前半20分過ぎから終盤にかけて5連取され、9対18で前半が終了した。

後半開始から7分過ぎまで両チームが点数を取り合う一進一退の攻防が続き、後半7分で13対23となる。これ以上点差を広げられたくない福岡は、②原田の技ありのポストシュートや③酒井の鮮やかなミドルなどで4連取し、後半15分に18対24と一気に差を詰める。一方の山梨は、チャンスを福岡⑩海老原に何度も阻まれるが、③窪田の力強いミドルなどで手堅く得点を重ねていく。粘る福岡は速攻からの5連取で、26対31と追い上げを見せるが、⑩堀川を中心としたディフェンスで要所を押さえた山梨が27対33でベスト8進出を果たした。

記載者氏名

後藤 秀生

送信日時

10月 7日(金) 17:05